

【実現施策の概要】

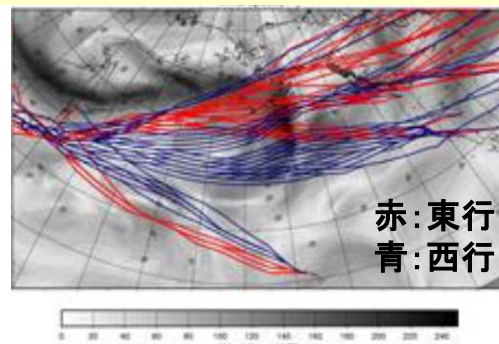
○NOPAC経路システムは、福岡FIRとアンカレッジFIRに跨る5本の平行航空路で構成され、交通量の多い空域である。経路間の間隔短縮、RNP4及びPBCS承認機の専用高度帯設定、既存のURP空域の拡大により、空域の有効利用とCO2排出削減に貢献する。



■ NOPAC経路(2021年)

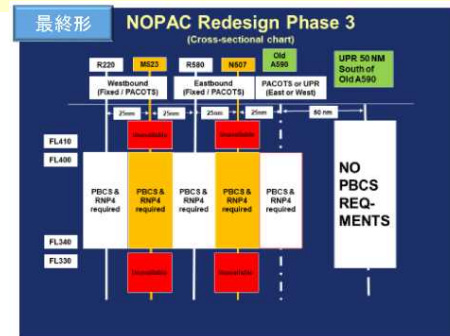
【成果還元の内容】

○シミュレーションを実施し飛行計画時の便益だけでなく、管制間隔欠如の数や時間の比較から、新NOPAC経路及びNOPAC FRAの空域/経路構成の便益を算出。現在4つのPhaseで段階的に導入が進められている。[2021年度第1Phase開始]



赤：東行
青：西行

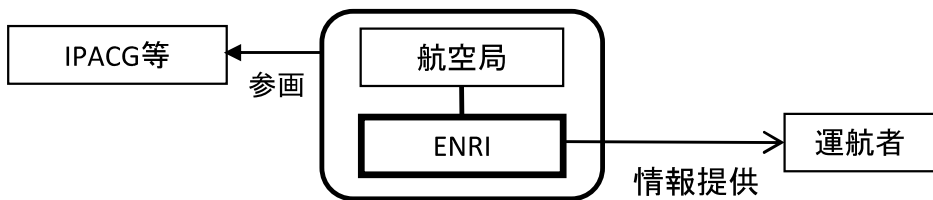
経路計算例



NOPAC再編(最終形)

【研究の実施概要】 2017年度～継続中

- ・設定課題・目標 WAM監視覆域を航空路に拡張する技術開発
- ・研究テーマ名 【フリールーティング空域における軌道ベース運用に関する研究(2017～2020年度)(ENRI: 平林 博子、ブラウン マーク)】
【国際交通流の円滑化に関する研究(2021～2024年)(ENRI: 平林 博子、ブラウン マーク)】
- ・研究実施体制 下記参照。運営費交付金による事業



【ENRI開発技術の反映内容】

- ・代表的な複数の気象条件でシミュレーションを実施し飛行計画時の便益だけでなく、管制間隔欠如の数や時間の比較から、新NOPAC経路及びNOPAC FRAの空域/経路構成の便益など評価結果を航空局に報告。IPACGでの議論など効率性と安全性の確認に貢献した。

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報
https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
 国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
 (研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
 電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432